

6/17

ともに生きる地域の仲間として

平成29年度「ちくしの福祉村」公開講座スタート

地域での助け合いをテーマに、地域包括ケアシステムを取り上げた講演が行われ、団塊の世代が75歳以上となる2025年(平成37年)をめどに、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるような体制づくりをはじめ、住民参加による支え合いの仕組みづくりや地域づくりについて、学習しました。

発足して23年になる「ちくしの福祉村」は、今年度も運営委員の皆さんによる公開講座が計6回予定されています。福祉の心について、考えてみませんか？



「他人事ではなく我が事にという社会に」と話す講師の山崎さん

6/15

悩めることは幸せなこと

あそびの広場「うちの子、最高!!」

イオンモール筑紫野にて、福岡県子育てアドバイザーの熊丸 みつ子さんを講師に招き、子育て支援センター主催の講演を行いました。

「母親がイライラするのも、子どもがイライラさせるのも、当たり前のこと。子育ては順調よ」

熊丸先生が明るく優しく語りかけたり、子どもと一緒に新聞紙遊びで楽しんだり、泣いて笑ってあっと言う間に時間が過ぎました。

最後は熊丸先生の「うちの子、最高!!」の掛け声に、お母さんと子どもの「はい!!」という声が響き渡りました。



親子教室やおでかけサロンもぜひご利用ください

6/18

手に汗握る頭脳戦

文部科学大臣杯 小・中学校将棋団体戦

生涯学習センターに、県内の小・中学校から将棋の腕自慢が集まり、団体戦でその腕を競いました。

持ち時間がなくなると負けになる「切れ負け」ルール。短い時間でどうやったら勝てるかを考えながら、真剣な表情で指し、盤上で目まぐるしく胸が動きまわりました。

また、棋士の北浜 健介八段がゲストとして訪れ、多くの子が憧れの先生にサインや指導対局をお願いしていました。

今、盛り上がりを見せる将棋界。この中から新星が現れるかもしれませんね。



お知らせコーナーで「子ども将棋教室」も募集しています

6/16

自分にできることを、ひとつひとつ

青年海外協力隊派遣決定報告

市内紫在住の今村 めぐみさんが青年海外協力隊としてマレーシアに派遣されることが決まり、その報告がありました。

社会福祉士の資格を持つ今村さんは、7月から2年間の予定で、知的障害者の就労支援などに従事します。

今村さんは「どこまで力になれるか分からないけれど、できることはなんでもやっていきたいです」と話していました。

体に気をつけて、たくさんのごことを吸収して帰ってきてくださいね。



現地での活躍を期待しています！